



第22回日野川への想いを語る会を開催しました

日野川河川事務所
平成31年2月8日(金)

平成31年2月6日(水)に、米子市立図書館2階多目的研修室で、第22回日野川への想いを語る会を開催しました。

想いを語る会には、日野川流域の7市町村と河川を管理する鳥取県及び日野川河川事務所が出席し「近年頻発する豪雨・水害に対する備えについて」をテーマとして、意見交換を行いました。

出席者からは、今年度の7月豪雨や台風24号豪雨の対応等を踏まえながら、「住民に避難指示を出しても、避難する人が少ない。」、「日野川水系大規模氾濫時のタイムラインが完成して、いつ・誰が・何をすべきかが明確になり、非常に役に立った。」、「日野川河川事務所長と市町村長とのホットラインは情報が分かりやすく伝わり良かった。」、「洪水時のライブカメラ映像は河川状況が直ぐに把握できるので増やしてほしい。」等の意見が出されました。

また、本会に先立って、鳥取大学理事・副学長の杉見吉晴氏に「風水害に対する住民防災意識の醸成のあり方」と題した特別講演も行って頂きました。

特別講演では、「地域防災力を向上させるには、日頃からの防災活動の継続や地域住民のコミュニケーション強化のための地縁活動が重要。「自助・共助」を原則に、住民と住民、住民と行政が密接な連携を図り、予測できる水災害で命を落とすことは絶対に防がねばならない。」など、防災研究者の立場からお話を頂きました。

【 意見交換会の様子 】



防災、減災の取り組みを社会全体で対応するためには、どのように国、県、市町村が豪雨・水害に備えていくべきか、幅広く意見交換を行いました。



日野川河川事務所長の挨拶



今回幹事である米子市長に議長をお願いしました



特別講演の様子

※会設立趣旨・過去の開催状況については、日野川河川事務所のホームページ

http://www.cgr.mlit.go.jp/hi_nogawa/river/kataru/index.html

をご覧ください。